

令和6年度予算の概要

輝く未来につながる “まちの鼓動” 予算



令和6年3月
北海道千歳市

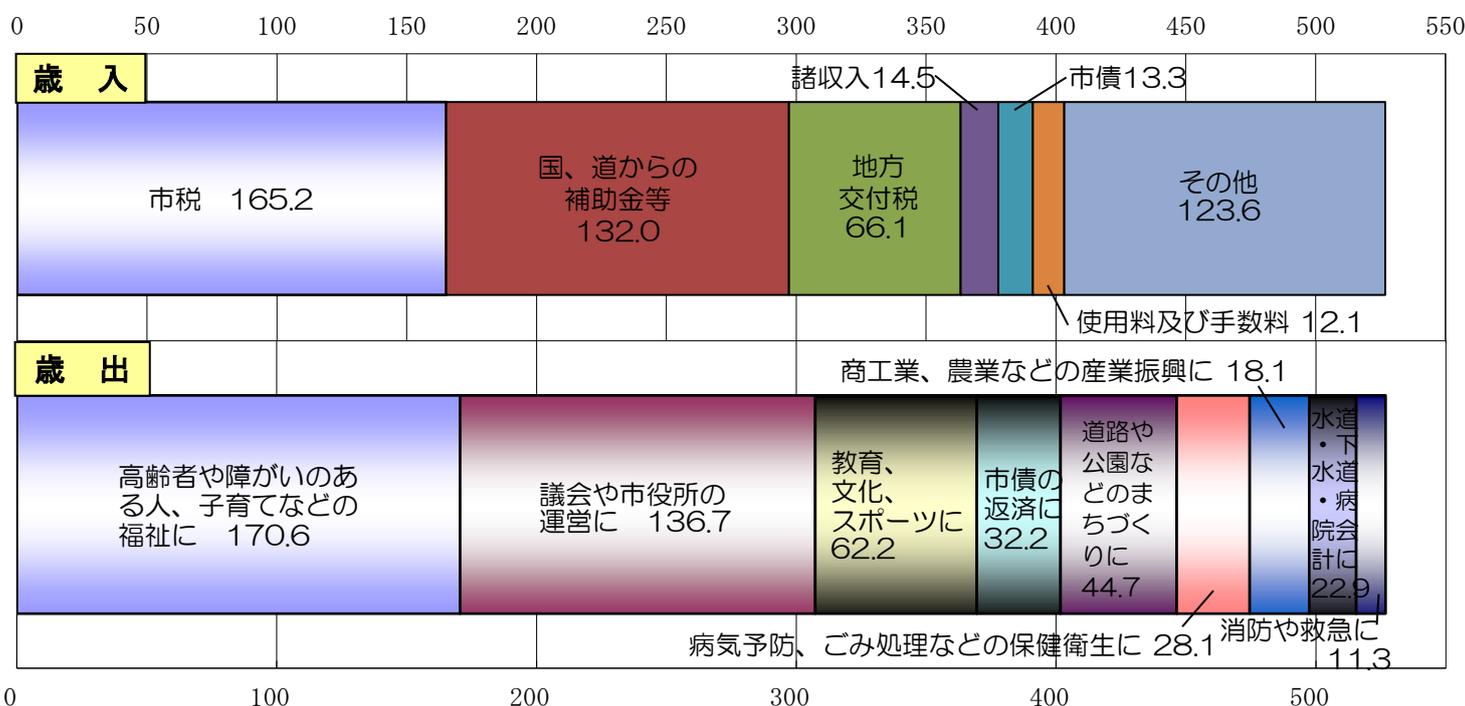
令和6年度各会計予算の状況

全会計 876億7千万円

一般会計
526億8千万円

税金などの収入で市民生活や教育、福祉などの基本的な事業を行う会計です。

(単位：億円)



特別会計
160億3千万円

料金や保険料などの収入で特定の事業を行う場合などに設ける会計です。

公営企業会計
189億6千万円

民間企業と同じように、独立採算性を原則としている会計です。

国民健康保険	79億7,008万円
土地取得事業	5,517万円
公設地方卸売市場事業	7,114万円
霊園事業	2,265万円
介護保険	64億7,151万円
後期高齢者医療	14億4,503万円

水道事業	41億3,154万円
下水道事業	61億7,885万円
病院事業	86億4,877万円



千歳市の一般会計予算を目的別に、 市民1人あたりの金額に置き換えると…

1人あたり

54万円

(令和6年度一般会計予算を、令和6年3月1日現在の人口97,784人で割ったもの。)

高齢者や障がいのある人、子育てなどの福祉のために
17万4千円



議会や市役所の運営のために
14万円



教育、文化、スポーツの振興のために
6万4千円



市債(借金)の返済のために
3万3千円



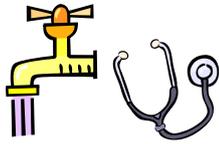
道路や公園などのまちづくりのために
4万6千円



病気予防、ごみ処理などの保健衛生のために
2万9千円



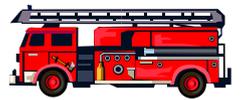
水道・下水道、病院会計に
2万3千円



商工業、農業などの産業振興のために
1万9千円

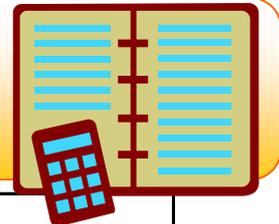


消防や救急のために
1万2千円



※千歳市の借金残高(約285億円)を市民1人あたりに換算すると、約29万2千円になります。

市民1人あたりの金額を性質別に、 家計簿に置き換えると…



千歳市の家計簿

支出		収入	
食費 (人件費)	7万3千円	給料 (市税)	16万9千円
光熱水費・電話代 (物件費)	11万6千円	諸手当 (国・道支出金)	13万5千円
医療費 (扶助費)	12万4千円	家族からの仕送り (地方交付税、交付金、譲与税)	15万円
仕送り・小遣い (補助費等、投資・出資、繰出金、貸付金)	11万円	同居家族からの収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	1万3千円
貯金の積み立て (積立金)	8千円	財産の運用による収入 (財産収入)	1万1千円
家の改修、家電の購入 (維持補修費、投資的経費)	7万6千円	貯金の活用 (繰入金、繰越金)	3万3千円
ローンの返済(元利) (公債費)	3万3千円	親類からの返済金など (諸収入)	1万5千円
		新たなローン借入 (市債)	1万4千円
	54万円		54万円

令和6年度の主な実施事業

1. あたたかさとつながりを心で感じられるまち

子育てアプリ導入事業費 99万6千円（新規） 子育て情報の発信に加え、こどもの成長記録管理や各種手続のオンライン予約などが行える「子育てアプリ」を導入し、切れ目のない子育て支援の充実を目指します。	総合福祉センター環境改善事業費 2,211万円（新規） 施設・設備の更新及び職員の事務スペースの狭隘化解消、コミセン機能の回復並びに市民が利用しやすい施設とするための整備を行うため、実施設計を行います。
不妊治療費等助成事業費 786万5千円（新規） 不妊治療にかかる経済的負担の軽減と治療機会の拡大を図るため、先進医療に要した医療費と通院のための交通費の一部を助成します。	産前・産後ケア事業費 1,045万5千円 市内産後ケアの更なる充実を図るため、長時間の産後ケアを行う「デイサービス型ロング（7時間以内）」の区分を新設するほか、「デイサービス型ショート（4時間以内）」の拡充を行います。
子どもの遊び場利用者支援事業費 206万6千円（新規） 千歳市民の屋内遊び場の確保を図るため、恵庭市の屋内遊び場「えにわファミリーガーデンりりあ」の利用料金について恵庭市民と同額で利用できるよう補助します。	教育・保育施設冷房設備整備支援事業費 1,927万5千円（新規） 安心・安全な保育サービスを、こどもや保護者に提供するため、市内の教育・保育施設において、夏季における熱中症対策として冷房設備を新たに整備する際に要する費用の一部を補助します。
学童クラブ・児童館冷房設備整備事業費 1,268万3千円（新規） 夏季における熱中症発症リスクが高まってきていることに鑑み、児童等が安心して過ごすことができる環境とするため、市内の学童クラブ・児童館に冷房設備を整備します。	へき地児童クラブ運営事業費 298万4千円（新規） 児童館や学童クラブを設置していない東千歳地区において、地域の父母会が開設する「東千歳地区子供クラブ」の運営費用の一部を補助します。

（他の主な実施事業）

- ・子ども医療費助成事業費
- ・生活保護事業費
- ・障害者福祉サービス利用券助成事業費
- ・予防接種推進事業費
- ・児童手当給付事業費
- ・障害児給付事業費 など
- ・地域福祉推進事業費
- ・高齢者福祉サービス利用券助成事業費
- ・自立支援給付事業費
- ・出産・子育て応援事業費
- ・児童扶養手当給付事業費
- ・成年後見制度利用支援事業費
- ・人材育成・離職者防止対策推進事業費
- ・地域生活支援事業費
- ・休日夜間急病センター運営事業費
- ・特定教育・保育施設給付事業費

2. 豊かな自然を育み快適で住みよいまち

千歳美々ワールド周辺環境影響調査事業費	2,916万6千円	脱炭素化推進事業費	707万3千円
半導体工場の建設にあたり、公害防止と生活環境の保全を目的に、立地用地周辺の環境への影響を把握するため、河川及び地下水の水質調査を実施します。		次世代を担う子どもたちが、気候変動について「自分ごと」として理解し、行動していけるよう、市内小中学生を対象とした出前授業『ちとせスクールof「ゼロカーボン」』を実施します。	
公共施設等脱炭素化推進事業費	1,000万円（新規）	道央廃棄物処理組合経費	3億9,537万5千円
市の公共施設等を対象に太陽光発電設備設置に向けた調査や高効率照明設備、高効率給湯器等の導入に向け検討を行います。		環境負荷の低減や経済的負担の縮減を目的に、2市4町で共同整備した道央廃棄物処理組合焼却施設が、令和6年4月に供用開始となることから、施設管理運営に係る経費の一部を負担します。	

（他の主な実施事業）

- ・新千歳空港24時間運用に伴う周辺環境対策事業費
- ・エコアクション推進事業費
- ・環境監視事業費
- ・自然環境保全事業費
- ・支笏湖ゼロカーボンパーク推進事業費
- ・道央廃棄物処理組合焼却施設建設事業費
- ・道央廃棄物処理組合最終処分場建設事業費
- ・塵芥収集運搬業務経費
- ・ごみ減量・リサイクル化啓発事業費
- ・共同受信施設設置事業費 など

3. 災害や危険から暮らしを守るまち

感染症対策救急用資器材整備事業費	546万9千円	消防総合庁舎大規模改修事業費	4億3,226万4千円
ディスプレイタイプ（使い捨て品：耐用年数の設定なし）の感染防止衣を感染症対策救急用資器材整備計画に基づき、整備します。		災害対策の活動拠点である消防総合庁舎の継続的な機能維持を目的に、老朽化した庁舎の改修及び機械設備を更新し、消防・救急体制の強化を図ります。	
消防団員用防火服更新整備事業費	418万8千円（新規）	札幌圏共同消防通信指令システム更新整備事業費	1億3,088万9千円
仕様が古く、耐熱性、耐久性及び機能が不足している防火服を更新し、消防体制の強化を図ります。		札幌圏6消防本部で消防通信指令システムを共同で整備し、共同運用することにより、効果的・効率的な応援体制を確立し、消防力の強化を進めます。	

（他の主な実施事業）

- ・防災訓練事業費
- ・避難所感染防止対策用品整備事業費
- ・重要給水施設耐震化事業費
- ・暴力追放・防犯対策事業費
- ・交通安全推進事業費
- ・火災予防等推進普及事業費
- ・消防車両等更新事業費 など

4. 充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち

小中学校冷房設備整備事業費	1億6,846万円（新規）	国指定史跡整備事業費	4億3,923万3千円
全中学校25校の普通教室と職員室を対象に冷房設備の整備を進め、小学校は令和7年夏から、中学校は令和8年夏から供用開始します。		国史跡「キウス周堤墓群」を保存し、広く周知するため、令和7年度のキウス周堤墓群ガイダンス施設の新設に向けた整備を進めます。	

（他の主な実施事業）

- ・公立大学法人運営事業費
- ・アイヌ文化発信事業費
- ・スポーツ普及推進事業費
- ・小中学校就学援助事業費
- ・市民活動交流センター管理運営業務経費
- ・縄文遺跡群世界遺産保存活用事業費
- ・新学校給食センター整備事業費
- ・アイヌ文化担い手育成事業費
- ・アイヌ文化展示物整備事業費
- ・修学支援事業費
- ・特別支援教育事業費
- ・地域学校協働活動推進事業費
- ・文化財保護保存業務経費
- ・市民文化センター・市民ギャラリー施設管理経費 など
- ・アイヌ文化イオル再生事業費
- ・エカシ・フチ聞き取り事業費
- ・小中学校ICT機器等整備事業費
- ・青少年非行防止事業費
- ・高齢者学級開催事業費
- ・給食提供業務経費

5. 地の利と資源を生かした産業のまち

千歳美々ワールド整備事業費	5億4,048万8千円	将来ビジョン・人口ビジョン策定業務経費	3,174万7千円（新規）
美々ワールド2期地区に立地する次世代半導体製造工場の事業活動に必要な道路などのインフラ整備を適切に進めるとともに、上下水道、電力、ガス等の関連インフラ整備の全体調整などの業務を実施します。		半導体関連産業の集積により今後まちに出現しうる変化等を洗い出し、令和7年度から10年間のまちづくりを進める基本指針とするための将来ビジョン・人口ビジョンを策定します。また、策定したビジョンを広く周知するためのPR動画を制作します。	
スマート農業普及推進助成事業費	860万円（新規）	企業誘致推進事業費	829万6千円
農業用のトラクター等にGNSS（全地球航法衛星システム）を活用した自動操舵システムを導入する農業者に事業費の一部として20万円を上限に補助します。		半導体関連企業を含む多業種の企業を訪問し企業の動向・意向を把握するとともに、本市の立地環境や新たな工業団地の造成に向けた取組についてPRを行うことにより、積極的に企業誘致を推進します。	

（他の主な実施事業）

- ・次世代半導体拠点推進事業費
- ・経営安定化対策事業費
- ・商業等活性化事業費
- ・国際交流事業費
- ・イベント支援事業費
- ・中小企業対策支援事業費
- ・環境保全型農業直接支援対策事業費
- ・立地企業振興事業費
- ・観光PR事業費
- ・ヒメマス保護振興事業費
- ・地元就職・人材確保支援事業費
- ・森林整備事業費
- ・企業誘致プロモーション事業費
- ・ツーリズム推進事業費
- ・ヒメマス地域特産品ブランド化事業費 など

6. 暮らしやすく便利な都市基盤があるまち

土地利用計画業務経費	95万円（新規）	2026ちとせ・空港開港100年記念事業費	5,271万7千円
次世代半導体関連企業の進出に対応するため、現在、不足している工業用地の選定及び土地利用計画について、関係機関、省庁と協議・検討を行います。		「空港があることの誇り」を後世に伝えるため、空港発展の歴史を学習まんが「新千歳空港のひみつ」として編集・作成します。また、実行委員会と連携して啓発活動を行うなど、空港開港100年に向けた気運の醸成を図ります。	
自動運転社会実装推進事業費	7,989万2千円（新規）	AIオンデマンド交通導入推進事業費	1,000万8千円（新規）
ドライバーの高齢化や人手不足が深刻化している公共交通分野において、市民にとって利便性の高い公共交通を維持・確保するため、将来的な導入に向けた路線バス自動運転の実証実験を行います。		AIを活用した効率的な運行により、アプリや電話からの利用者予約による「オンデマンド交通」の実証実験を行います。	
インクルーシブ遊具整備事業費	1,930万円（新規）	ちとせ住まいのゼロカーボン化推進事業費	356万3千円（新規）
障がいの有無に関わらず誰もが遊べるインクルーシブ遊具を北光公園に設置し、障がい児と健常児と一緒に遊ぶことにより、相互理解の促進と共生社会の形成につなげます。		住宅設備の省エネルギー化を進め、CO2の排出を抑制するため、ゼロカーボン化に資する住宅（給湯器を省エネ機器に更新する）に対して一部補助を行い、カーボンニュートラルの推進を図るとともに、快適に暮らせる良質な住宅ストックの形成を図ります。	

（他の主な実施事業）

- ・バス路線確保対策補助事業費
- ・官民連携まちなか活性化推進事業費
- ・市営住宅管理業務経費
- ・29号通整備事業費
- ・公営住宅建替事業費（富丘団地）
- ・千歳駅前広場再整備事業費
- ・除排雪事業費
- ・市道整備事業費
- ・市内公園整備事業費
- ・緑化推進事業費 など
- ・まちなか地域交流推進事業費
- ・街路灯LED化整備事業費
- ・27号通整備事業費
- ・東雲団地用途廃止事業費

7. 多彩な市民とオール千歳で挑戦するまち

情報政策推進事業費	719万6千円	書かない窓口導入事業費	1,232千9万円（新規）
デジタル機器に不慣れな方への支援や情報格差の解消を目的として、事業者委託によるスマホ講習会を開催します。また、職員向けの講習を実施し、デジタル技術を活用した事業の推進や支援等ができる人材の育成を行います。		マイナンバーカードや運転免許証等を活用し、申請書に氏名などを記入せずに各種証明書の発行や申請手続きが可能となる「申請書作成支援システム」の導入により、行政手続きにおける市民の負担軽減及び利便性の向上を図ります。	
行かない窓口導入事業費	103万7千円（新規）	（仮称）大和地区コミュニティセンター整備事業費	1,654万4千円
「住民票の写し」や「印鑑証明書」等の各種証明書発行申請を、市役所に行かなくても自宅等から、スマートフォン等により行うことができるオンライン申請を導入し、市民サービスの更なる向上を図ります。		地域住民の交流・連携などのコミュニティ活動の拠点や災害時の指定避難所としての機能を有する施設として、（仮称）大和地区コミュニティセンターを整備するため、基本設計を行います。	

（他の主な実施事業）

- ・ふるさと千歳応援事業費
- ・市民協働推進事業費
- ・自衛隊体制強化要望活動事業費
- ・自衛隊連絡調整業務経費
- ・A I ・ R P A 導入推進事業費
- ・町内会育成事業費
- ・男女共同参画推進事業費 など

千歳市の財政に関するお問い合わせは・・・

千歳市総務部財政課 Tel : 0123-24-0541 (直通)